

令和元年度 第1回米子市環境審議会開催結果

1 開催日時

令和2年2月7日（金）午後2時から午後3時まで

2 開催場所

米子市役所本庁舎5階 議会第1会議室

3 出席者（敬称略・順不同）

委員

藤井雄三、高野和男、岡本幹三、天野宏紀、管原庄吾、関孝信、谷本晴美、武良賢治、伊藤直子、熊谷春美、田部美穂、谷本恵美、矢倉幸雄
（欠席・山口啓子、辻田香織）

事務局

朝妻市民生活部長、福田環境政策課長、山川環境政策課担当課長補佐、池ロククリーン推進課担当課長補佐、大峯環境政策課担当課長補佐、口田環境政策課係長、上場環境政策課係長、野口環境政策課主幹、石川環境政策課主事

4 会長及び副会長の選出について

会長に藤井雄三委員、副会長に高野和男委員を選出

5 諮問

第2次米子市環境基本計画策定について
伊木市長から藤井会長へ諮問を行いました。

6 議事事項

- (1) 米子市環境基本計画の進捗状況について（報告）
- (2) 次期（第2次）米子市環境基本計画策定について

資料

- ・会議日程
- ・資料1：米子市環境基本条例抜粋（環境審議会部分）
- ・資料2：米子市環境審議委員名簿
- ・資料3：米子市環境基本計画進捗状況報告書
- ・資料4：次期（第2次）米子市環境基本計画策定について
- ・当日配布資料：中海水質関連
参考資料：米子市環境基本計画（改定版）
参考資料：令和元年度版 米子市の環境（環境白書）

7 公開・非公開

公開

8 傍聴者数

なし

9 議事の概要

【事務局】

「米子市環境基本計画の進捗状況について」資料3「進捗状況報告書」についての【基本目標1】『地

球環境に配慮した循環型のまちづくり』について説明

【会長】

ご意見、ご質問がございましたら委員の皆様のご発言をお願いします。

【A委員】

ノーマイカーデーについて、例えば市の職員さんがどれだけ実施しておられるのか把握していますか。

【事務局】

現在は、指定した日ではなく、公共交通機関のできるだけの利用、エコドライブということで、啓発をしているのが実態です。

【A委員】

公共交通機関を使わないといけないということがありますが、非常に公共交通が貧弱な中で、なかなかバスや自動車を含めて使っただけないということがある。その中で、「A」評価してあるという評価自体、また、いろいろと「O」がついているが、本当に客観的な評価されているのですか。

【事務局】

「O」につきましては、前年度の取組を基本とし継続した取組については、「O」の評価としています。実態からすると評価としてどうなのかということはあると思いますが、今回の計画については、こういう形での評価としています。次期の計画時には、そのあたりを注意しながら、評価方法について、再度検討したいと考えています。

【会長】

ノーマイカーデーについては、前回もいろいろな意見があつて、一斉は難しいので、分散などを考えて実施していくのがよろしいかと思ひます。

その他、ご意見、ご質問等ご発言はありますか。

【委員】

意見なし

【事務局】

【基本目標2】『健康で安心して暮らせるまちづくり』について説明

【会長】

ご意見、ご質問がございましたら委員の皆様のご発言をお願いします。

数値目標の「B」評価がついているものあたりは、どういうふうに改善していこうという案がありますか。

【事務局】

「B」評価について、美保湾とか日野川、中海といった公共用水域については、基準を超えている項目として大腸菌群数というのがあり、大腸菌群数の基準が、自然界に存在している大腸菌群数と人為的なものすべて含めてのもので、自然にあるもの自体で超えてしまうことが多々あり、水質を改善して基準をクリアできるというものではないということで、国の方も環境基準の見直し等を議論されています。その他の項目につきましては、正常な状態を保っておりますので、ここでこの変化を「A」とか「B」とかで評価することが適切かということはありません。

【会長】

「水のきれいさに対する満足度」とか「空気のきれいさに対する満足度」について、この目標値を掲げたということは、こういうことが可能であると想定して設定されていることと思ひますので、そうすると何か啓発していかないと、イメージが湧きませんね。これは、次期計画の課題ですね。

【B委員】

ヌカカについての内容ですが、評価が「◎」になっていますが、アンケートでの評価結果でしょうか、それともその他の評価としてなのでしょうか。

【事務局】

発生抑制対策のモデル事業の新たな対策を始めたということと、事業の内容を拡充したということです。

【B委員】

去年と一昨年はずごく暑く、周りが干ばつになり、死滅して被害が少なかった状況です。その辺が

加味されているかどうかです。

【事務局】

自然の生物のことで、気象条件というのがかなり大きな発生要因となっています。昨年と一昨年は、高温とか春先の乾燥とかで、発生が少なかったと認識しています。発生がゼロではありませんので、今後の気象条件によって発生する可能性もありますので、発生抑制の対策について考えています。

【B委員】

駆除方法もいろいろと研究していけばいいなと思っているのです。薬品ばかりでなく。

【会長】

米子高専の先生方が研究され、土を攪拌すると幼虫が発生しにくいという結果がでています。製菓会社の方も、いろいろと対応をされています。

【B委員】

何かヌカカ为天敵になることを研究したりとかはないですか。

【会長】

そういうのは危なく、環境を逆に汚染をするということで、良くないです。開拓することで効果があり、放置している土地が多い方が増えます。

【C委員】

当日配布資料で、赤潮の時間的な推移で、改善したという結果となっています。特にCODは改善できていると受け止めますが、全窒素と全リンで、大橋川河口と米子湾がなかなかで、原因は、家庭排水とか事業排水とかそういうものが集中的に流れるようなところで改善が難しいのですか。

赤潮発生が改善された結果として全く出なくなっているように受け止められる。状況によっては、自然が相手で、また発生するかもしれないと思うが、大橋川の河口と米子湾は将来的には解決できる内容なのか、改善される可能性があるのか教えていただきたい。

【事務局】

平成21年から25年までの平均と平成30年と比較しますと、その基準をクリアしている地点が増えてきております。米子湾については、閉塞的というところで単純に陸地からの流出汚濁負荷だけではないと思います。COD、全窒素、全リン以外の透明度の変化も徐々に良くなってきており、これまでの対策を継続していけば、少しずつ改善していくものと考えております。

【C委員】

全窒素、全リンは、閉塞性のところでは、問題となるのですが、下水処理で高度処理を松江市はやっております。あまりそういうのが反映されていないのかなという感じもありますが、そのあたりはどうなのでしょう。

【事務局】

下水の高度処理もかなり大きい割合で効果寄与していると思います。自然系から出てくるものもございまして、生活系汚濁はかなり削減してきております。高度処理も島根県側では進んでおりますが、米子につきましても徐々に改善しているところです。

【C委員】

昔と比べるとヘドロも少なくなって、透明度もかなり良くなっているのですか。大腸菌も一応基準以下なので、泳げる、そういう範囲になってきているかなと思うのですが、透明度はどれ位ですか。

【事務局】

透明度は、まだ2メートルはないですが、かなり近づいています。天候によって巻き上がるので濁ることもありますが、平均的に見るとだいたい2メートル位です。オープンウォータースイムなど競技イベントも開催されるようになってきています。水質浄化施策は、総合的に行っています。国、両県、市で様々な水質浄化対策をしており、例えば、国交省は、沿岸部を覆砂といいます、ヘドロの上に砂を被せたりして、自然浄化機能の回復を目指して、事業をされています。

【C委員】

将来的にはだんだん良くなるという感じですね。

【会長】

その他、ご意見ご質問ございませんか。

【委員】

意見なし

【事務局】

【基本目標3】『豊かな自然と調和したまちづくり』、【基本目標4】『環境資源を活かしたまちづくり』、【基本目標5】『みんなが環境を考えるまちづくり』について説明

【会長】

ご意見、ご質問がございましたら委員の皆様のご発言をお願いします。

【委員】

意見なし

【事務局】

資料4「次期（第2次）米子市環境基本計画策定について」について説明

【会長】

ご意見、ご質問がございましたら委員の皆様のご発言をお願いします。

【A委員】

まちづくりビジョンとの整合性と書いてあるが、環境について、まちづくりビジョンを通じて話されることがなかった。字面では書いてあるのですが、市の中できちんと一貫してそういうことに向かっていくのだという体制が本当にとれているのか心配なところです。

【事務局】

今回のまちづくりビジョンの構成につきましては、個別事業でこれから新たにというような部分に特化したビジョンとなっております。

これまで継続的にやってきたこと、今後もやっていくことについては、まちづくりビジョンには載っていないものもあります。市の施策の他との関連も合わせて整合性を図っていききたいというような中身ですので、そのあたりも含めてご審議頂きたいと思います。

【A委員】

上位計画があるなかで、やはりここが、こういうことを論じていきますよというのが基本的なベース。まちづくりビジョンと切り離してやりますということでは決していない。今後、まちづくりビジョンの中に取り入れていく、基本的に位置付けていくということをお願いしたい。

【D委員】

公民館で米子人生大学（学習講座）が年10回開催されますが、テーマとして健康は必ず2回は入れないといけない、でも環境は入れても入れなくてもよいということで、最近、環境のことが全然ない。それも同じように必ず環境は1回入れるなどと決めればよいと思います。そのあたりからでも言っていただきたいです。

【事務局】

担当課とつめていきたいと思います。

まちづくりビジョンは、先行してほぼ決定しており、中身については、環境について記載があまりないところは確かですので、国、県の計画とそれからこの場できちんと環境基本ということで、ご議論を頂いて、こちらの計画の中に盛り込んで頂きたいと考えておりますので、よろしくをお願いします。

【会長】

米子市自身、全部が融合した形で本来は進んでいくのが良い。

その他、ご意見ご質問ありましたらご発言をお願いします。

【委員】

意見なし

【会長】

続きまして、その他について何かありましたらお願いします。

【事務局】

特にありません。

【会長】

本日の議題について長時間ご議論いただきありがとうございました。

これにて閉会といたします。ありがとうございました。